

新生児科

文責：福永 真之介

概要

平成30年度は小児科医師6人で診療を行った。

診療

周産期母子医療センターには地域周産期母子医療センターと、より高次の医療を担う総合周産期母子医療センターとがある。当院は地域周産期母子医療センターの認定を受けており、NICU（新生児集中治療室）6床、GCU（継続保育室）6床を有している。

NICUでは、早産児や中等症以上の疾患に罹患した新生児に対して集中治療を行っている。GCUでは、NICUである程度大きくなった早産児や軽症の新生児に対して治療を行っている。

NICUおよびGCUを退院した児に対しては小児科外来で発達、発育のフォローアップを行っている。極低出生体重児を中心として、下関市こども発達センターと協力し修正1歳6ヵ月、3歳、6歳で知能検査を施行し長期予後の評価に役立てている。

平成30年度の入院数は332人で、平成29年度の334人と比較し横ばいだった。近年出生数の減少により入院数も減少傾向だったが平成30年度は現状維持であった。

平成23年度以降、在胎週数25週～26週以上の児を入院対象とし、より未熟な児の出生が予想される場合は山口大学病院等の総合周産期母子医療センターに積極的に母体搬送する方針としている。

平成30年度は、母体搬送困難のため在胎週数24週0日の児の入院があったが、生存退院することが出来た。死亡退院は1例あり、重度の低酸素性虚血性脳症の児だった。

平成30年度 新生児入院症例

総入院数	332
院外出生	33
院内出生	299

在胎週数別入院数（死亡数）

23週～27週	1 (0)
28週～31週	3 (0)
32週～35週	43 (0)
36週以上	285 (1)

出生体重別入院数（死亡数）

～999g	1 (0)
1000g～1499g	8 (0)
1500g～1999g	18 (0)
2000g～	305 (1)

呼吸管理症例

人工呼吸管理	12
nasal CPAPのみ	18

治療実績

肺サーファクタント補充療法	6
動脈管開存症薬物治療	1
外科手術	2
脳低温療法	1

検査実績（延べ件数）

心臓超音波検査	270
その他の超音波検査	174
頭部MRI検査	11